

# すでに9戸発生！！ 牛のサルモネラ症に注意！

6月中旬から、管内で既に9例の牛のサルモネラ症が発生しています。うち5例は、サルモネラ・ティフィムリウム（成牛の発熱・下痢）、3例はダブリン（哺乳牛の発熱・呼吸器症状・軟便）によるものでした。10月にかけて、好発時期なので、一層、警戒が必要です。

## ◆ 牛のサルモネラ症の主な症状

- ①発熱（40℃前後）
- ②下痢・軟便（時に血便）
- ③乳量激減
- ④呼吸器症状
- ⑤子牛の死亡
- ⑥流産など

## 侵入防止

- ・導入牛の隔離・観察（3週間）
- ・敷地の出入口に石灰散布、牛舎ごとに踏込消毒槽の設置
- ・野生動物や野鳥の侵入防止（防鳥ネット等の設置）

特に、飼料の管理には十分な注意を！

- ・長靴で餌槽を踏まない

## 牛舎内での対策

- ・牛舎の定期的な清掃・消毒  
（飼槽・水槽・ミルクバケツ、カーフハッチは特に念入りに！）  
・・・ウォーターカップ周辺の残餌で菌は爆発的に増えます！
- ・子牛に十分な免疫をつけるために十分な初乳の給与を！

北海道網走家畜保健衛生所

電話：(0157)36-0725 FAX：(0157)36-5801